

農 研 速 報

平成24年5月10日発行

茨城県農業総合センター農業研究所

〒311 - 4203 茨城県水戸市上国井町3402

TEL029 - 239 - 7212 FAX 029 - 239 - 7306

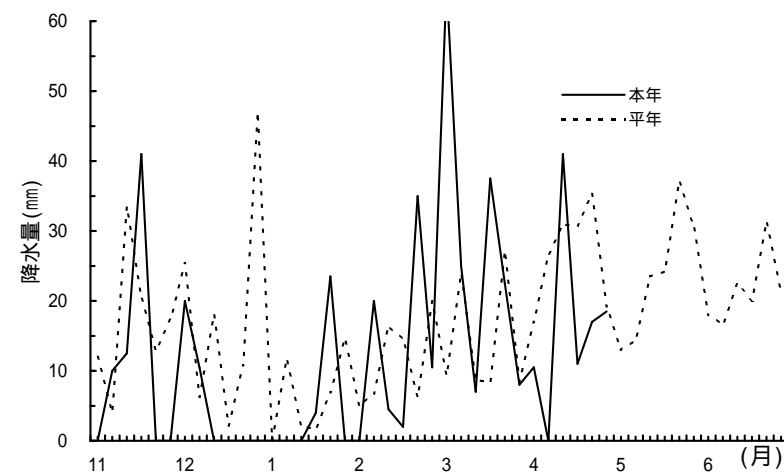
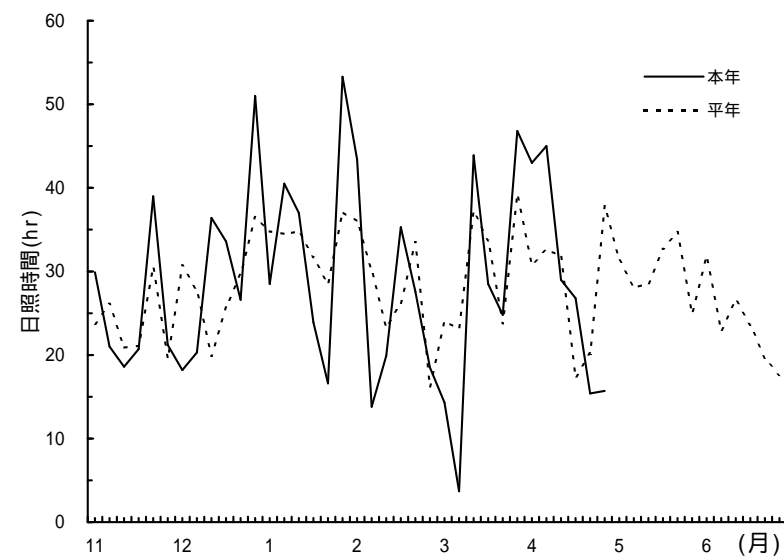
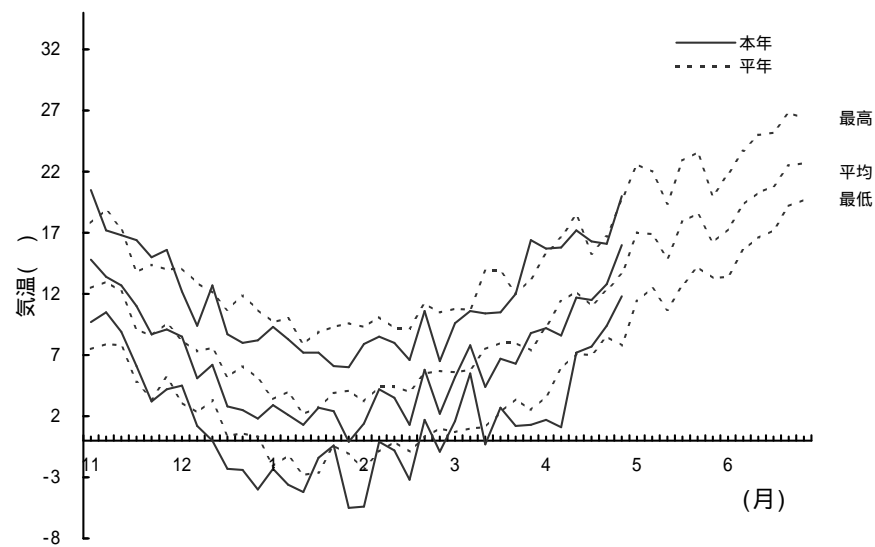
水戸市における麦の生育状況(5月4日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	備 考
水 戸	11月4日播種 小麦 (農林61号) (さとのそら)	穂揃期 開花始	遅 遅	気象概況:4月第1半旬～第6半旬 平均気温は平年並、降水量は平年比61%、日照時間は平年比103%であった。なお、4月上旬に最低気温が氷点下となる日が数日あったが、現在のところ、生育への影響は見られていない。	赤かび病を適期に防除する。防除適期は、下記のとおり。 小麦:開花始期～開花期 六条大麦:出穂～穂揃期に開花を確認した時 二条大麦:穂揃期の10日後頃に穂から薬が出ているのを確認した時
	六条大麦 (カシムムギ) (カシマゴール)	開花期～乳熟期 開花期～乳熟期	遅 -	生育概況 (11月4日播種) 農林61号:出穂期は平年より5日遅い5月1日であった。 さとのそら:出穂期は平年より1日遅い4月28日であった。 カシムムギ:出穂期は平年より7日遅い4月22日であった。	出穂期以降に降雨が続 き、平均気温が18～20 以上になると本病の発生が多くなる。発病の好適条件が続く場合は、1回目の薬剤散布7～10日後に2回目の散布を行う。2回目の散布を実施する際は、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。
	11月21日播種 小麦 (農林61号) (さとのそら)	穂揃期 穂揃期	やや遅 -	(11月21日播種) 農林61号:出穂期は平年より1日遅い5月3日であった。	

対平年遅速について、カシマゴール、さとのそら晩播は平年値が無いため、“-”としている。

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	出穂期			耕種概要
			本 年 (月・日)	前年差 (日)	平年差 (日)	
11.4	小麦	農林61号	5.1	2	5	1)圃場来歴:表層腐植質黒ボク土畑(前作休耕) 2)播種量:0.8kg/a 3)施肥量:N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=0.6-0.6-0.6kg/a、無追肥 4)播種様式:畦幅30cm、ドリル播き 5)平年値:平成19～22年播種の結果の平均。ただし、 <u>さとのそら適期播種は平成21、22年播種の平均</u> 。 さとのそら晩播、カシマゴールは平成22年播種から試験実施のため、平年値は無い。 6)麦踏み:12月20日(11月4日播種のみ)、2月13日
		さとのそら	4.28	2	1	
	六条大麦	カシムムギ	4.22	4	7	
		カシマゴール	4.20	2	-	
11.21	小麦	農林61号	5.3	1	1	
		さとのそら	5.1	2	-	



平成23～24年度半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データ)